

【公募情報】平成 28 年度 日本医療研究開発機構 (AMED)「慢性の痛み解明研究事業 (平成 28 年度 1 次公募)」公募について

平成 27 年 11 月 18 日

信濃町地区研究者各位

信濃町キャンパス 学術研究支援課

11 月 13 日付で平成 28 年度「慢性の痛み解明研究事業 (平成 28 年度 1 次公募)」について新規課題が公募されました。

ご応募を検討されている研究者におかれましては下記照会先までご一報くださいますようお願いいたします。

(1)応募意思の申し出締切：【平成 27 年 11 月 26 日 (木)】

(2)応募書類一式提出締切：【平成 27 年 11 月 30 日 (月)】

【注意点】

- ・ 本学で応募が可能な方は、本学と雇用関係のある”常勤”の研究者となります。
- ・ 機関を対象としての公募であり、申請は代表機関の長が行うことになります。
- ・ 提案書の提出方法：【e-rad】

慢性の痛み解明研究事業 (平成 28 年度 1 次公募)

<http://www.amed.go.jp/koubo/010520151113-06.html>[外部ページ]

—公募概要—

慢性の痛み解明研究事業 (平成 28 年度 1 次公募)

【提出期間】2015 年 11 月 13 日～2015 年 12 月 11 日 (金) (正午)

【研究開発課題】慢性頭痛の病態解明・客観的指標・治療法の開発に関する研究

【研究費の規模】1 課題あたり 1000 万円/年 (間接経費を含む)

【研究期間】最長 3 年度 (2016 年度～2018 年度)

【採択課題数】1 課題程度

【目標】「機能的要因により引き起こされる慢性の痛み」のうち、原因や病態が十分に解明されていない慢性頭痛について、革新的技術等を用いてこれらの病態を解明し、痛みに関する客観的指標を用いた評価法や新たな治療法の開発に結びつけることを目標とする。

【求められる成果】

エビデンスに基づいた病態メカニズム、痛みに関する客観的指標を用いた評価法や新たな治療法。またそれらのエビデンスとなる研究班が作成あるいは収集した原著論文等。

治療法開発に関しての課題は、治療法に資するシーズであることを示す研究者等による原著論文、研究課題の進捗状況に応じて、病態解明のための疾患モデル、試験物の規格決定、試験物の製造体制整備（製造工程記録一式）、非臨床 POC 取得、非臨床安全性評価（非臨床試験総括報告書）、治験開始（治験薬概要書、医師主導治験実施計画書）、治験完了（医師主導治験総括報告書）、薬事承認/認証申請（治験薬概要書最終版）等。

【採択条件】

＜必須条件＞

・最終的に臨床応用されることを考慮に入れて、実現可能性が高い長期的なロードマップを作成して、当該疾患が治療法開発におけるどの段階にあって、当該研究がどのような役割を果たすのかを明示すること。そのロードマップには研究期間内の短期的な目標とともに、10 年単位の長期的な目標についてもいつまでにどのような成果物（疾患モデルやシーズなど）が提出できるかを明らかにすること。

＜その他の条件＞

- ・治療法開発研究においては、開発ステージが進行した段階では、治験を視野に含めた臨床研究に積極的に対応できる体制が整備されていること。
- ・治験を実施する場合には、公的な各種治験登録サイトにおいても公開すること。
- ・国際展開を視野に入れた研究開発を遂行できること。

担当（照会先）：信濃町キャンパス 学術研究支援課 AMED 担当

メール：amed-shinano@adst.keio.ac.jp